

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2022年11月24日



証券コード：4461（東証プライム）  
第一工業製薬株式会社

# 本日のアジェンダ



- 1. 2023年3月期 第2四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2023年3月期 業績見通し** **P.15**
- 3. トピックス** **P.25**
- 4. 現状認識と目標達成に向けて** **P.29**

# 1. 2023年3月期 第2四半期 連結決算

## 連結 業績の概要（前期比較）




**増収減益**：製品の価格改定が一定進み増収も、原材料価格の高騰が利益を圧迫

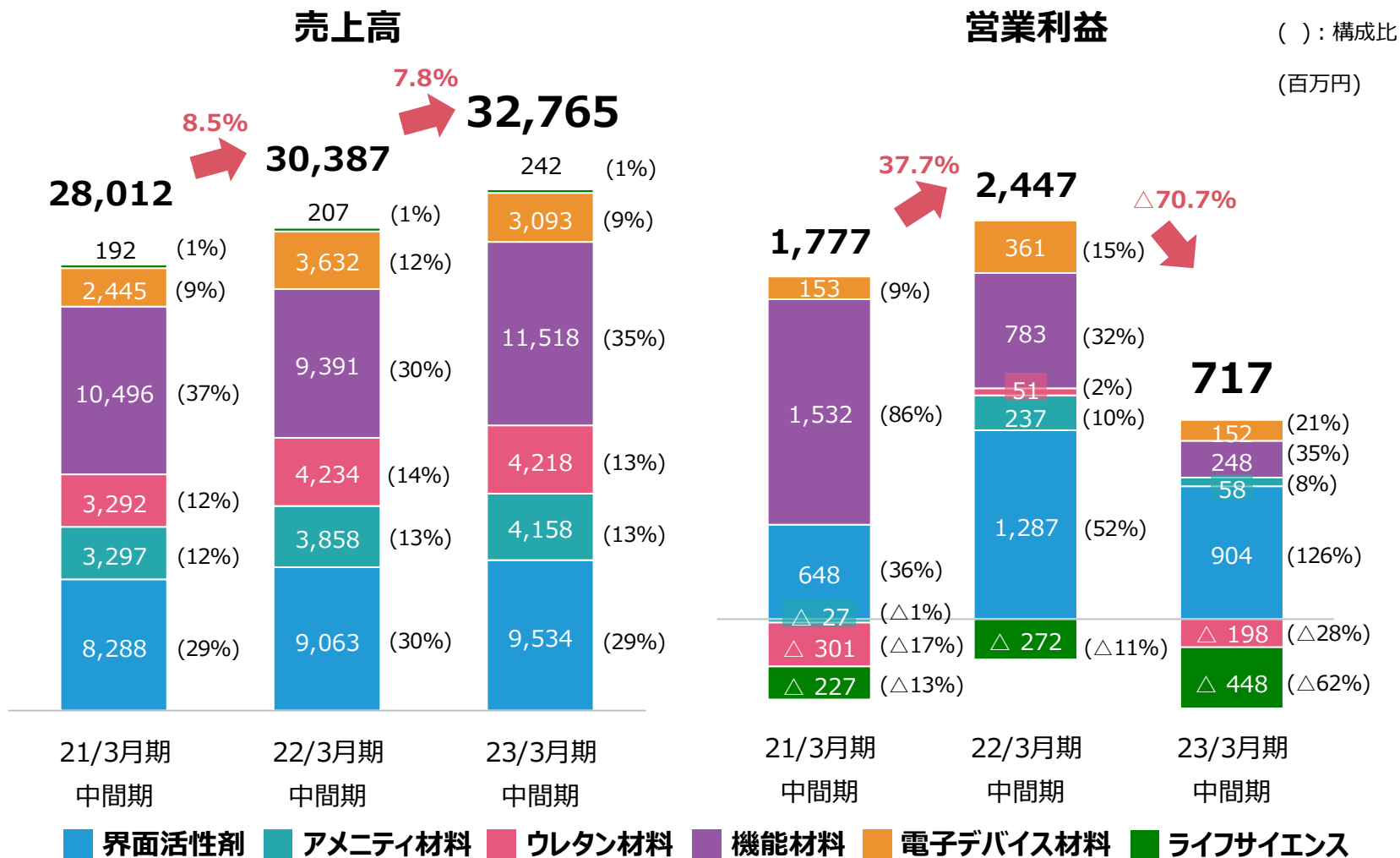
（単位：百万円）

	22/3月期 中間期	23/3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	30,387	32,765	2,377	7.8%
営業利益	2,447	717	△ 1,730	△ 70.7%
経常利益	2,152	872	△ 1,280	△ 59.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,160	△ 396	△ 1,557	—

**増収**  **売上高**：海外向け難燃剤が大幅に伸長

**減益**  **営業利益**：原材料価格の高騰が価格転嫁を上回り減益  
将来に向けた研究開発費が増加

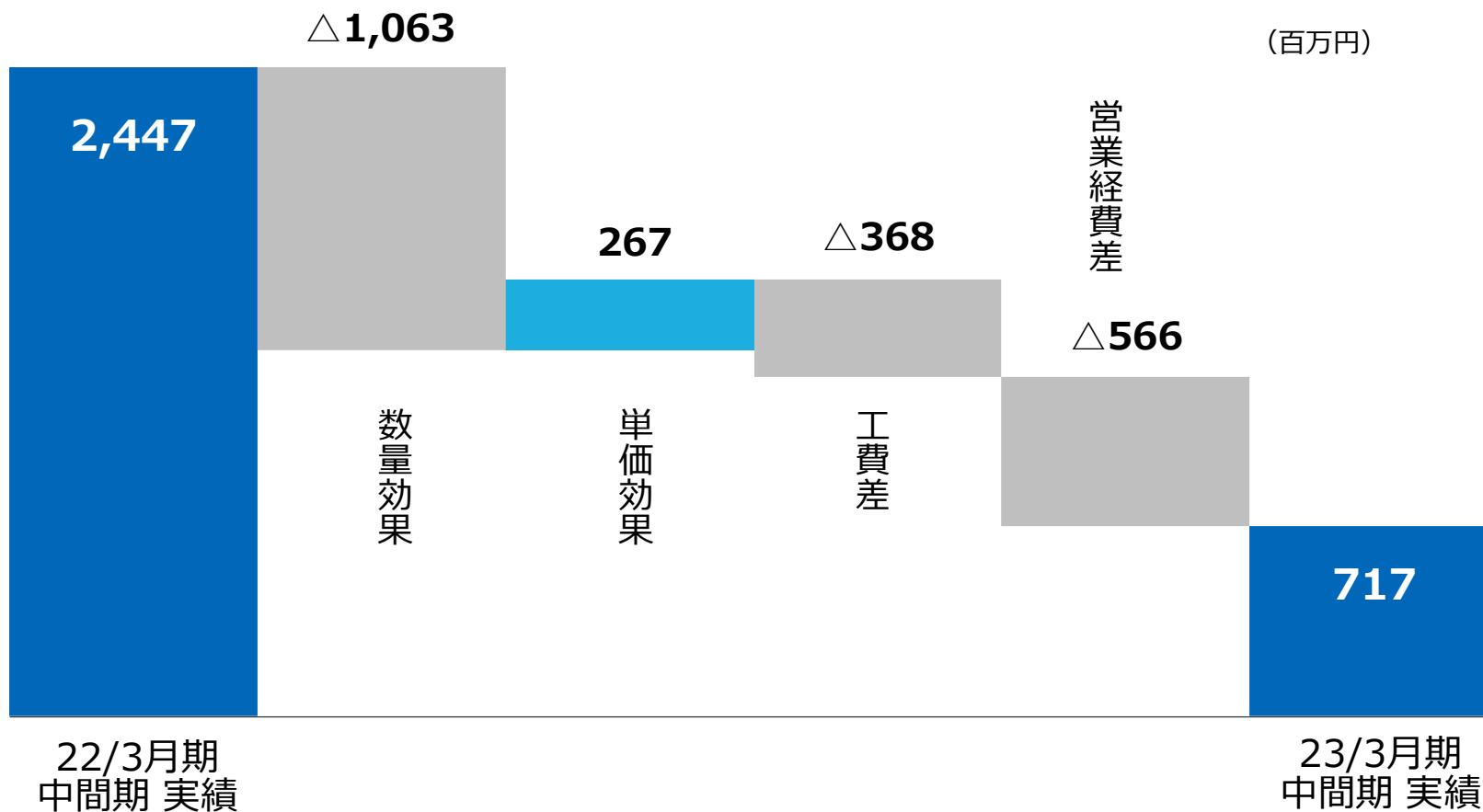
# セグメント別構成比の推移



# 2023年3月期 第2四半期 営業利益増減分析



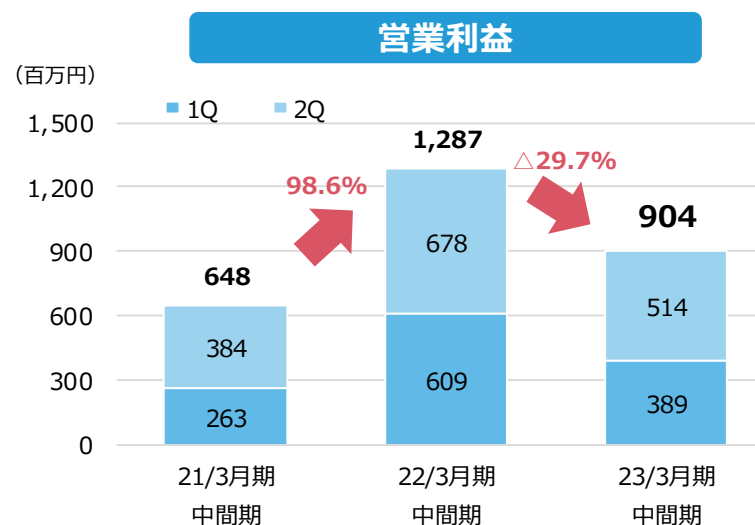
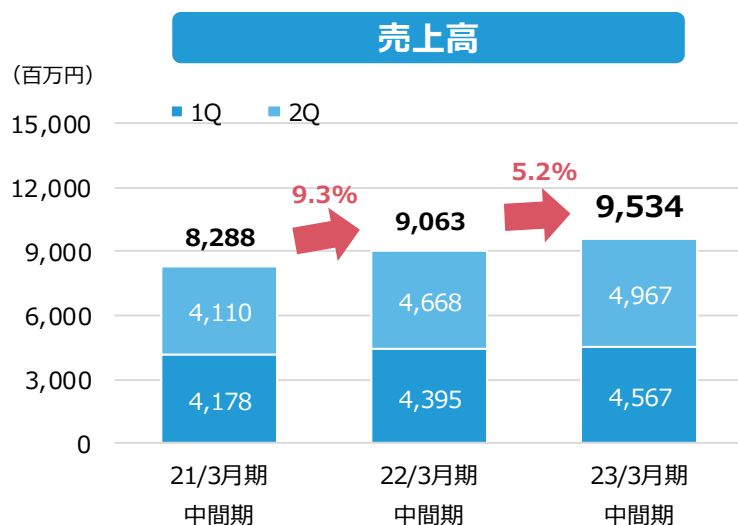
- \* 界面活性剤、土木用薬剤など販売数量減
- \* 原材料上昇による価格改定
- \* 工場の再稼働により経費増加
- \* 販売活動及び研究開発費などの増加



# 連結 セグメント業績 界面活性剤



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



#### 売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途:低調に推移
- 塗料・色材用途:低調に推移
- 機械・金属用途:堅調に推移
- 石けん・洗剤用途:大幅に伸長

#### 営業利益：減益

- 原材料価格高騰の影響を受け減益

#### IT・電子材料用途



#### 石けん・洗剤用途



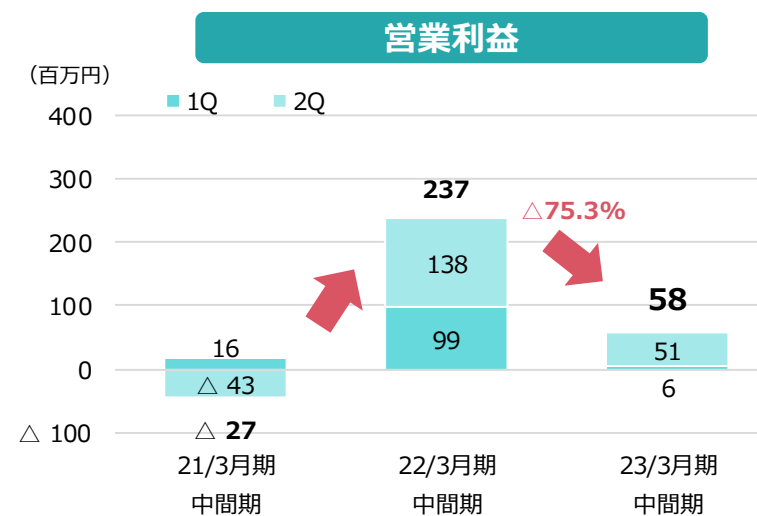
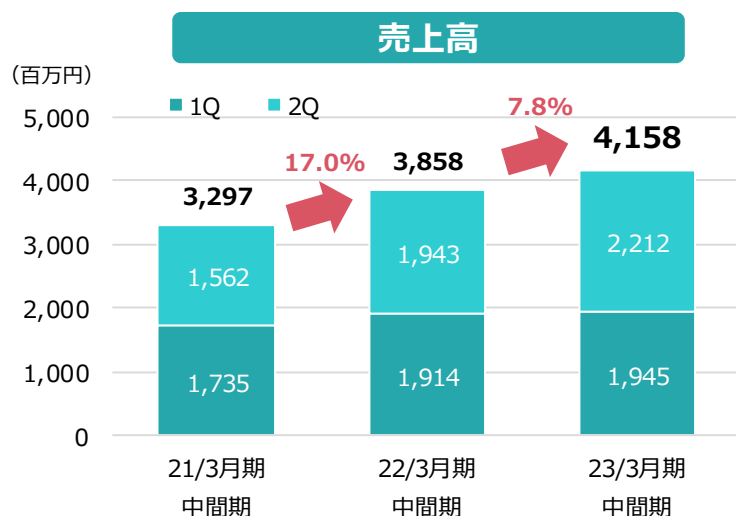
#### 塗料・色材



# 連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



#### 売上高：総じて堅調に推移

- 食品用途: ショ糖脂肪酸エステル 国内堅調、海外低調
- 化粧品用途: 海外大幅に伸長
- エネルギー・環境用途: セルロース系高分子材料 低調に推移

#### 営業利益：減益

- 原材料価格高騰の影響を受け減益
- 営業経費の増加

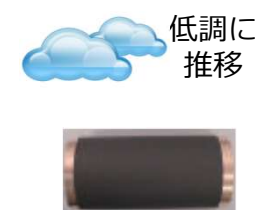
#### 化粧品用途



#### 食品用途



#### エネルギー用途

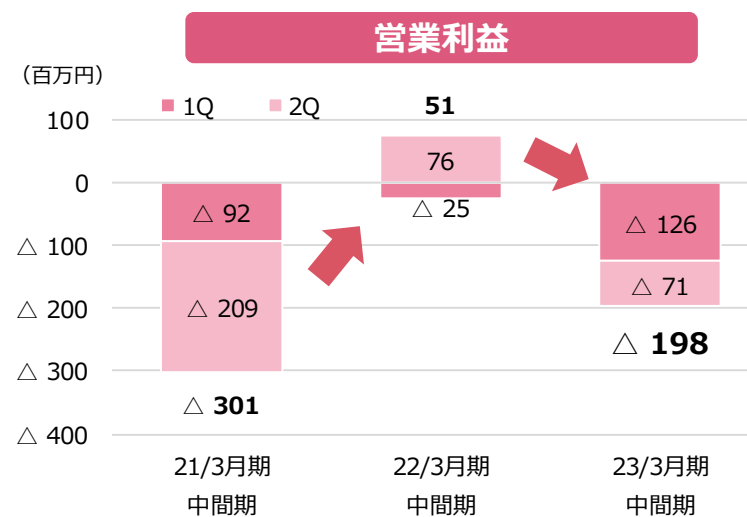
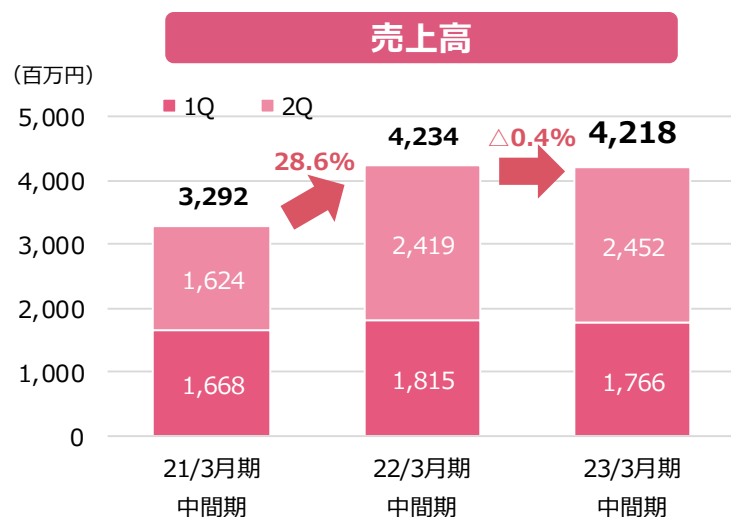




# 連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



#### 売上高：総じて低調に推移

- IT・電子材料用途: 堅調に推移
- 土木薬剤用途: 大きく落ち込む
- 合成潤滑油: 大幅に伸長

#### 営業利益：営業損失

- 原材料価格高騰の影響を受け減益

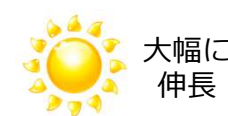
#### IT・電子材料用途



#### 土木用薬剤: 岩盤固結



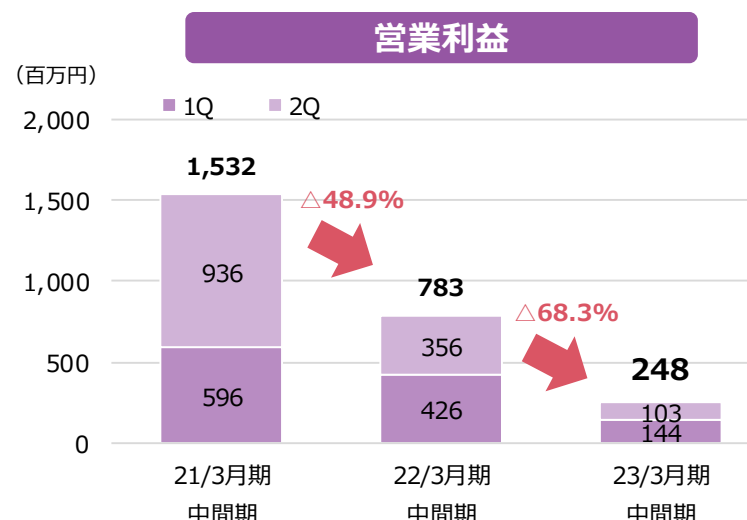
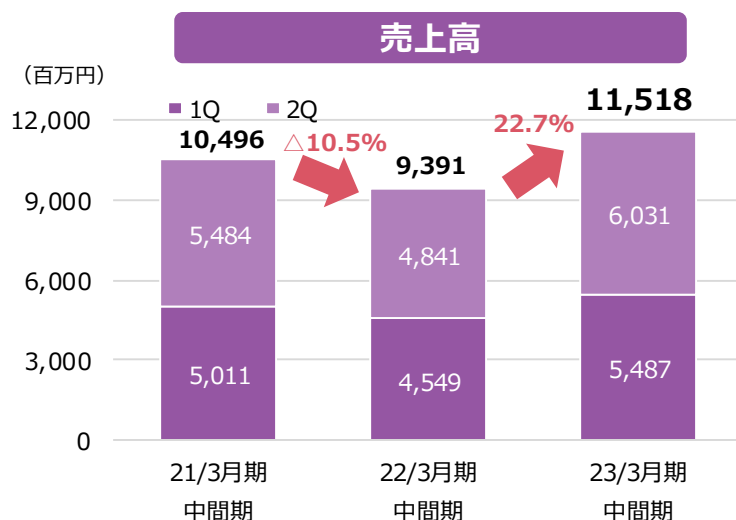
#### 合成潤滑油



# 連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



#### 売上高：総じて大幅に伸長

- 電子材料用途：低調に推移
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤 国内/海外 大幅に伸長

#### 営業利益：減益

- 原材料価格高騰の影響を受け減益
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

#### 電子材料用途



低調に推移



#### プラスチック用難燃剤



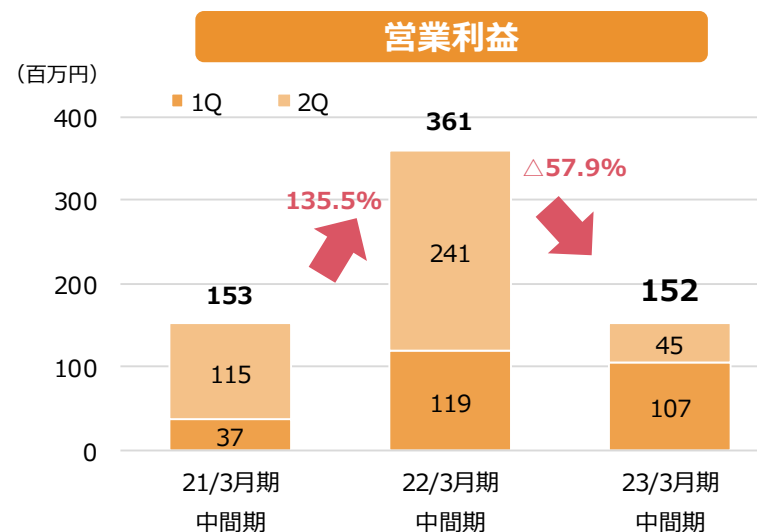
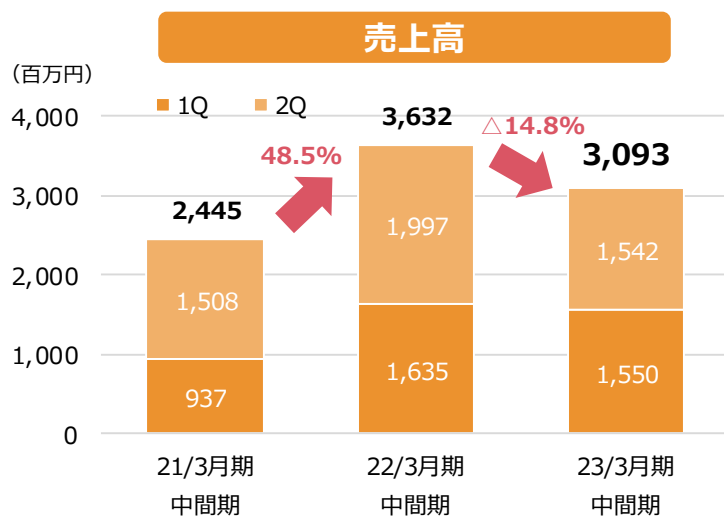
大幅に伸長



# 連結 セグメント業績 電子デバイス材料



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



#### 売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペースト大きく落ち込む
- ディ스플레이用途：イオン液体低調に推移

#### 営業利益：減益

- 売上高が大きく落ち込んだことが要因

#### 太陽電池用途



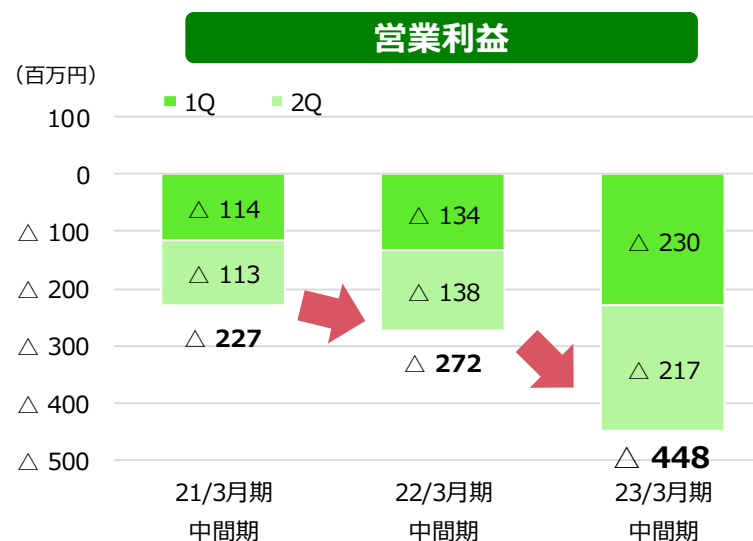
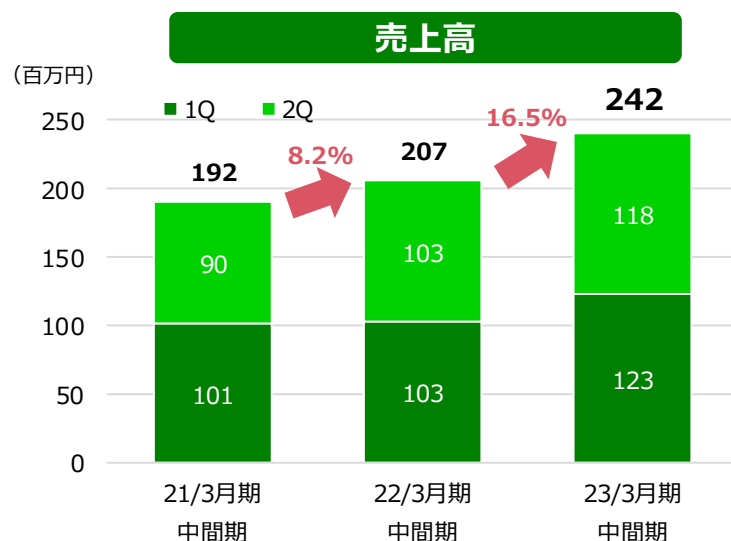
#### ディスプレイ用途



# 連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



**売上高：前期と比べ34百万円増加**

- カイコ冬虫夏草:低調に推移
- 健康食品等の受託事業:堅調に推移

**営業利益：営業損失**

- 売上高は伸長したが営業経費が先行

## 冬虫夏草

低調に推移



## 健康食品等の受託事業

堅調に推移



## 連結 連結比較貸借対照表の概要



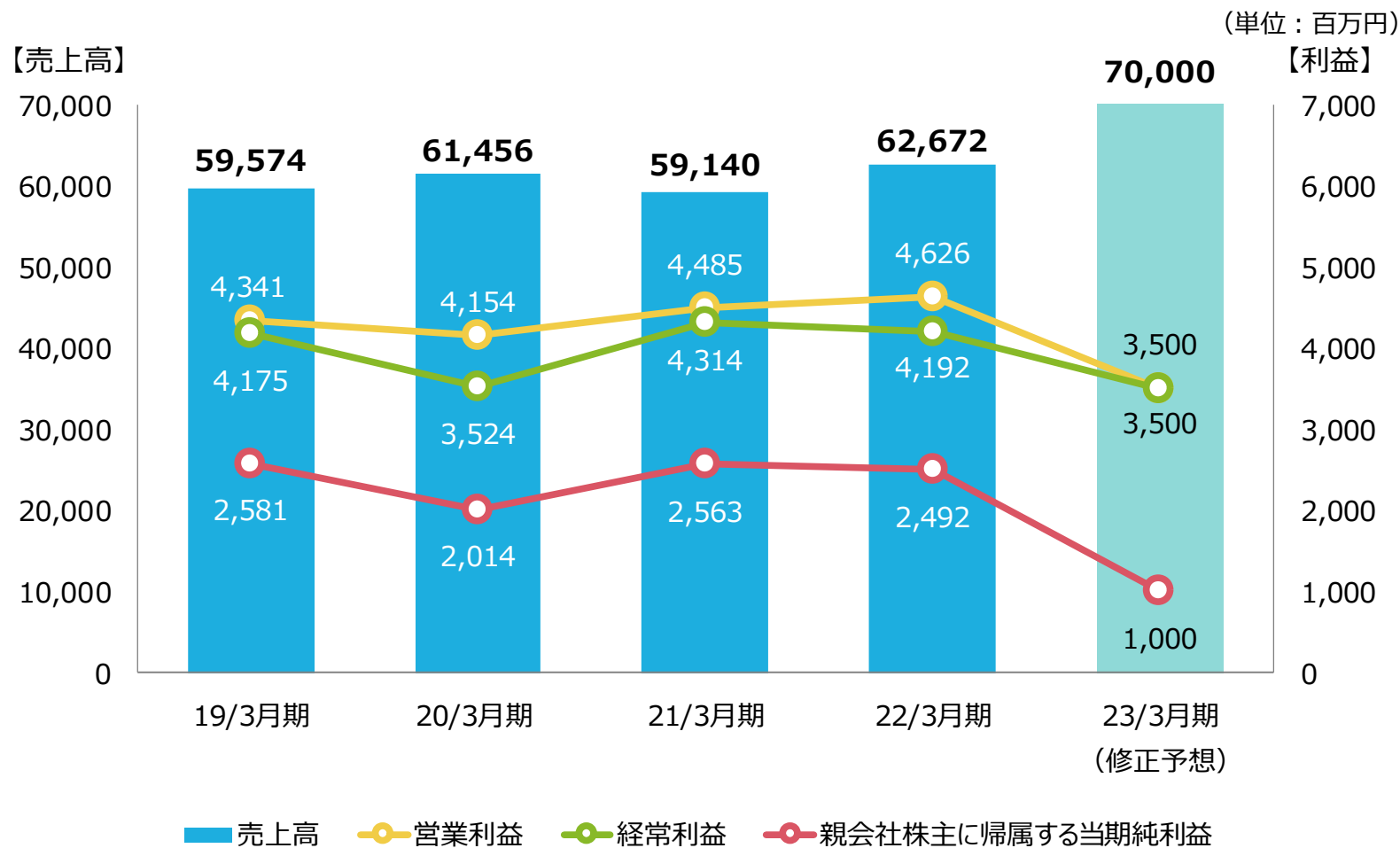
(単位：百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減額		2022年 3月末	2022年 9月末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>46,534</b>	<b>44,533</b>	<b>△ 2,001</b>	<b>流動負債</b>	<b>21,726</b>	<b>24,407</b>	<b>2,680</b>
現預金	12,224	7,243	△ 4,981	仕入債務	10,634	11,877	1,243
売上債権	16,492	17,866	1,373	有利子負債	7,269	8,638	1,368
棚卸資産	15,508	17,002	1,493	その他	3,822	3,891	68
その他	2,308	2,421	112	<b>固定負債</b>	<b>24,359</b>	<b>20,772</b>	<b>△ 3,586</b>
<b>固定資産</b>	<b>39,935</b>	<b>39,715</b>	<b>△ 219</b>	有利子負債	23,603	20,209	△ 3,394
有形固定資産	33,358	33,142	△ 215	その他	755	563	△ 192
無形固定資産	618	369	△ 249	<b>負債合計</b>	<b>46,086</b>	<b>45,180</b>	<b>△ 906</b>
投資・その他の資産	5,958	6,204	245	<b>純資産</b>	<b>40,383</b>	<b>39,069</b>	<b>△ 1,314</b>
<b>合計</b>	<b>86,469</b>	<b>84,249</b>	<b>△ 2,220</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>86,469</b>	<b>84,249</b>	<b>△ 2,220</b>

(単位：百万円)

	22/3月期 中間期	23/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,049	595	△ 2,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,032	△ 1,320	△ 287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,447	△ 4,455	△ 1,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	191	122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 1,361	△ 4,989	△ 3,627
現金及び現金同等物の期末残高	10,170	7,161	△ 3,008

## 2. 2023年3月期 業績見通し





## 連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2023年 3月期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の生産が低調となり、多くの地域で納車までの期間が長期化。海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。	
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え、部材の価格高騰が継続。	
インフラ (リニア新幹線)	大型プロジェクトは、当社計画より遅延。	

## 連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2023年 3月期
ディスプレイ	半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、回復の兆しがあるものの、引き続き低迷する見込み。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要用途の家電、AV機器の需要は半導体不足の影響を受け、下期は引き続き厳しい状況になる見込み。</li> <li>・薄型テレビ生産は、需要低迷で下期以降も急激に生産量が激減。</li> <li>・液晶パネル価格は、下落傾向。</li> <li>・国内住宅建材向け断熱材用途は、底を脱してきており下期は回復の見込み。</li> </ul>	

### 具体的な対策

- ①価格改定の活動継続と原材料確保（安定供給）
- ②原材料上昇分の確実な転嫁（利益確保）
- ③投資効率の向上  
（霞工場稼働率アップ、コストダウン、業務効率化、在庫調整）

## 連結 セグメント別売上高予想



セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）				2023年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	9,063	9,500	<b>18,564</b>	30	9,534	10,934	<b>20,468</b>	29	<b>1,904</b>	<b>10</b>
アメニティ材料	3,858	4,233	<b>8,092</b>	13	4,158	4,600	<b>8,758</b>	13	<b>665</b>	<b>8</b>
ウレタン材料	4,234	4,060	<b>8,294</b>	13	4,218	5,200	<b>9,418</b>	13	<b>1,124</b>	<b>14</b>
機能材料	9,391	10,537	<b>19,928</b>	32	11,518	12,600	<b>24,118</b>	34	<b>4,190</b>	<b>21</b>
電子デバイス材料	3,632	3,684	<b>7,316</b>	12	3,093	3,600	<b>6,693</b>	10	△ <b>623</b>	△ <b>9</b>
ライフサイエンス	207	269	<b>476</b>	1	242	300	<b>542</b>	1	<b>65</b>	<b>14</b>
合計	30,387	32,285	<b>62,672</b>	100	32,765	37,234	<b>70,000</b>	100	<b>7,327</b>	<b>12</b>

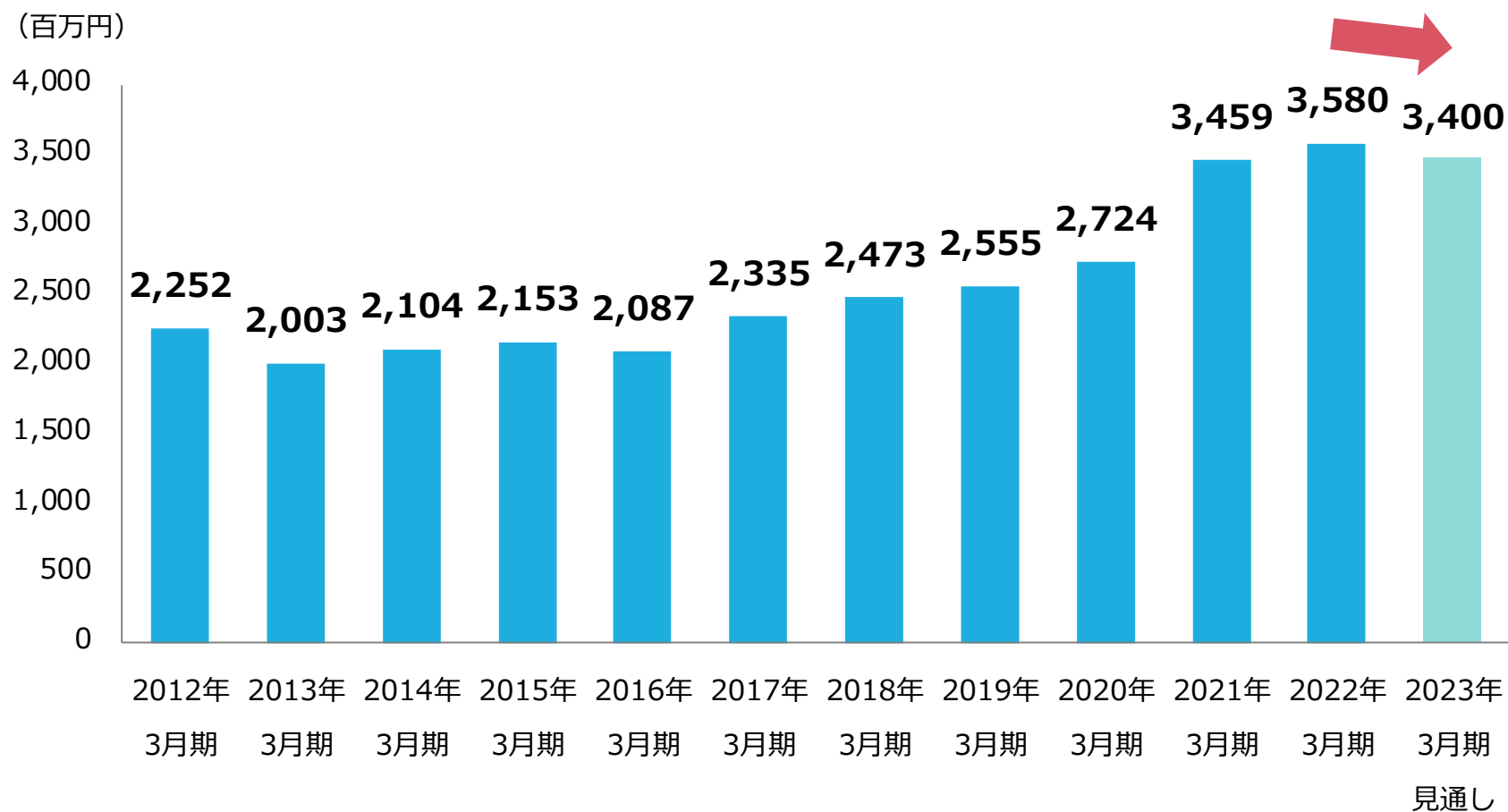
## 連結 セグメント別営業利益予想



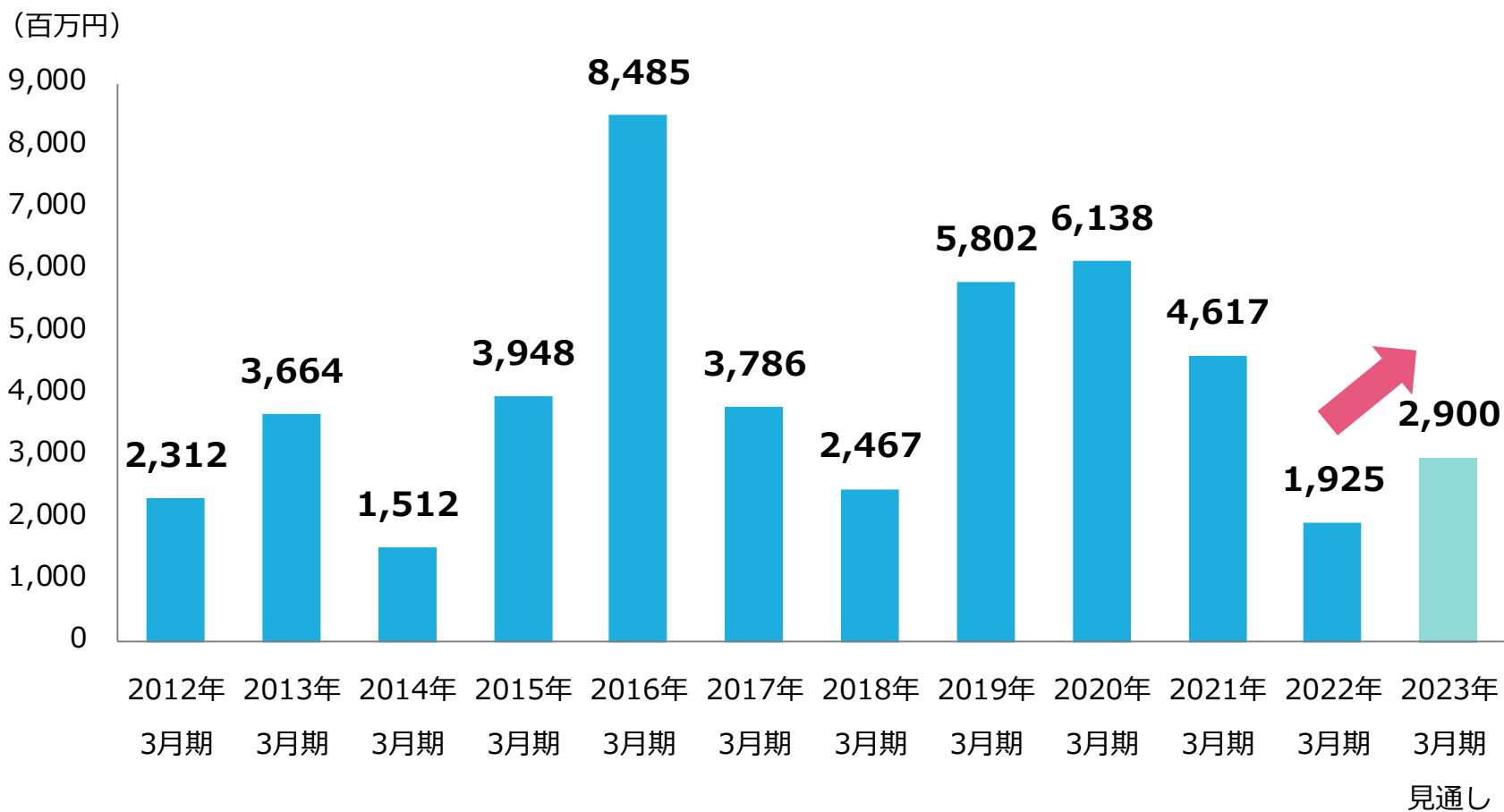
セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）				2023年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	1,287	1,189	<b>2,476</b>	54	904	1,322	<b>2,227</b>	64	△ 249	△ 10
アメニティ材料	237	329	<b>566</b>	12	58	350	<b>408</b>	12	△ 158	△ 28
ウレタン材料	51	3	<b>55</b>	1	△ 198	250	<b>51</b>	1	△ 3	△ 6
機能材料	783	571	<b>1,355</b>	29	248	1,000	<b>1,248</b>	36	△ 107	△ 8
電子デバイス材料	361	354	<b>715</b>	15	152	300	<b>452</b>	13	△ 263	△ 37
ライフサイエンス	△ 272	△ 270	△ <b>543</b>	△ 12	△ 448	△ 440	△ <b>888</b>	△ 25	△ 345	-
合計	2,447	2,178	<b>4,626</b>	100	717	2,782	<b>3,500</b>	100	△ 1,126	△ 24

内訳		金額(億円)
2023年3月期 上半期営業利益(実績)①		7
2023年3月期 下半期 営業利益 (見通)	注力事項	
	数量効果	2
	価格転嫁	7
	高利益率製品の 販売推進	9
	経費節減	6
	子会社の販売貢献	4
	小計②	28
2023年3月期 通期営業利益(目標値)① + ②		35

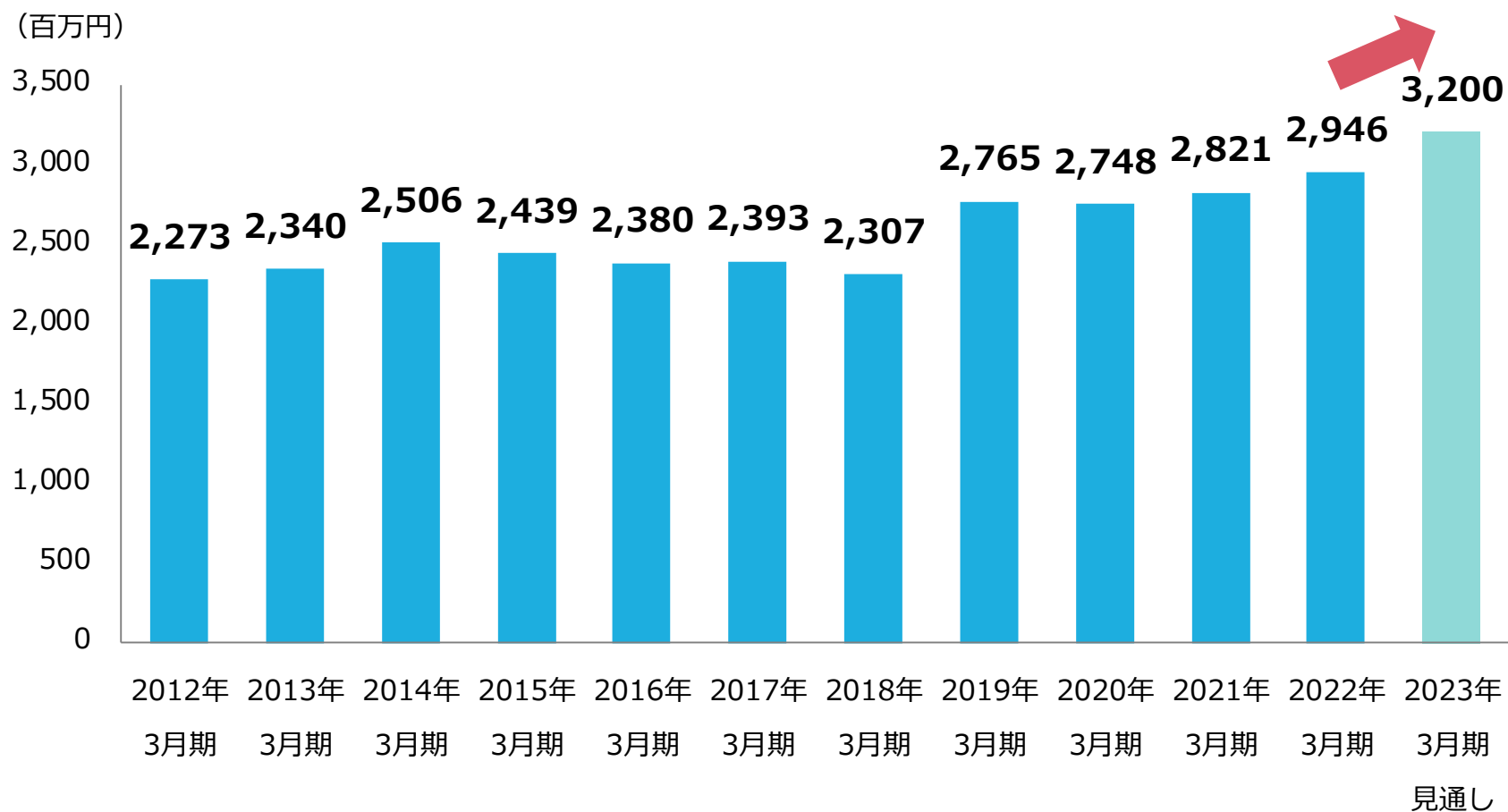
## 連結 減価償却費の推移



## 連結 設備投資額の推移



## 連結 研究開発費の推移





## 3. トピックス

## データサイエンスを活用した事業推進と価値創造の実現



滋賀大学/第一工業製薬 包括連携協定締結式  
(左：滋賀大学竹村学長、右：DKS山路社長)  
2022/5/27 京都経済センターにて

2022年5月27日 国立大学法人滋賀大学(滋賀県彦根市：武村学長)と包括連携協定を締結し、以下の取り組みを推進します。

- \* ビッグデータを利活用した課題解決
- \* 若手研究員のデータサイエンス人材育成
- \* 事業推進と価値創造の実現
- \* 修学支援 (SDGs4「質の高い教育をみんなに」)

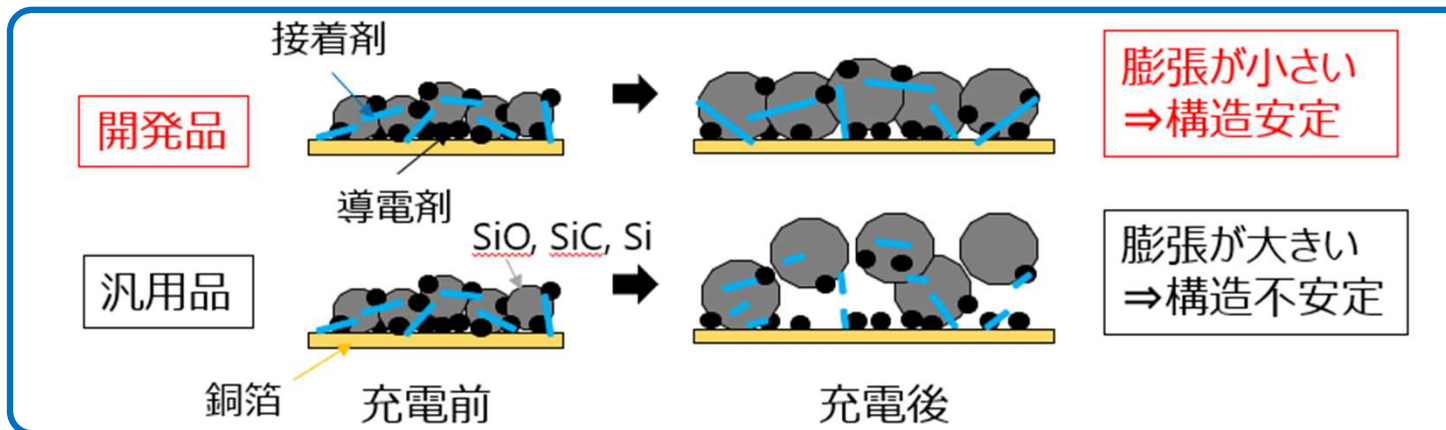
既に、当社の若手研究員を滋賀大データサイエンス学部へ派遣し人材育成を開始しています。

[https://www.dks-web.co.jp/updata/n\\_pdf/20220527.pdf](https://www.dks-web.co.jp/updata/n_pdf/20220527.pdf)

## リチウムイオン二次電池高容量化を実現！

高容量リチウムイオン二次電池の負極用ポリイミド接着剤「エレクセル®EPI」シリーズを新開発！シリコン系材料を使うと同電池が劣化するという課題を解決し、安定動作を保持することが可能となりました。

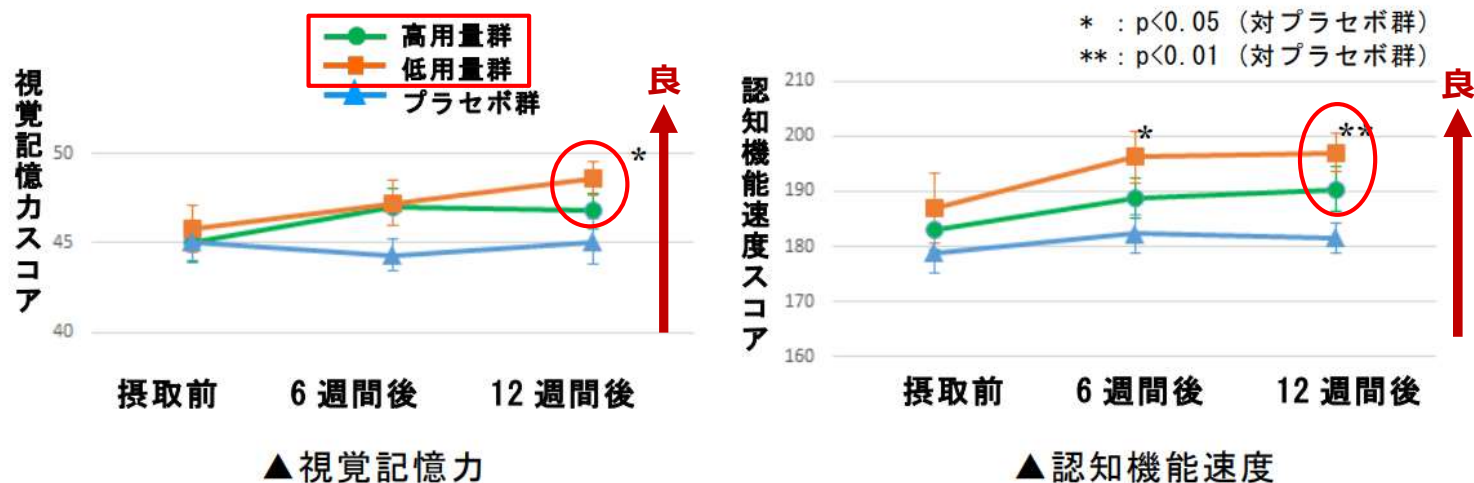
当社は、サステナブル社会の実現、脱炭素社会へ向けて、環境・エネルギー分野の素材開発に注力しています。



[https://www.dks-web.co.jp/updata/n\\_pdf/20221013.pdf](https://www.dks-web.co.jp/updata/n_pdf/20221013.pdf)

## カイコ冬虫夏草のヒトに対する認知機能改善効果を確認！

健常者および軽度認知障害者(90人)に対する臨床試験において、ナトリド含有カイコハナサナギタケ冬虫夏草摂取による認知機能改善効果を確認しました。健康寿命延伸にむけた取り組みが一步前進しました。



[https://www.dks-web.co.jp/updata/n\\_pdf/2022100402.pdf](https://www.dks-web.co.jp/updata/n_pdf/2022100402.pdf)

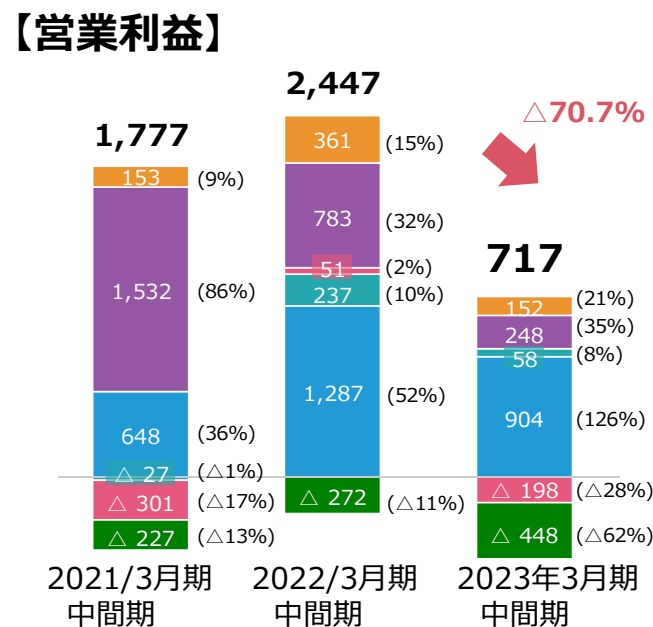
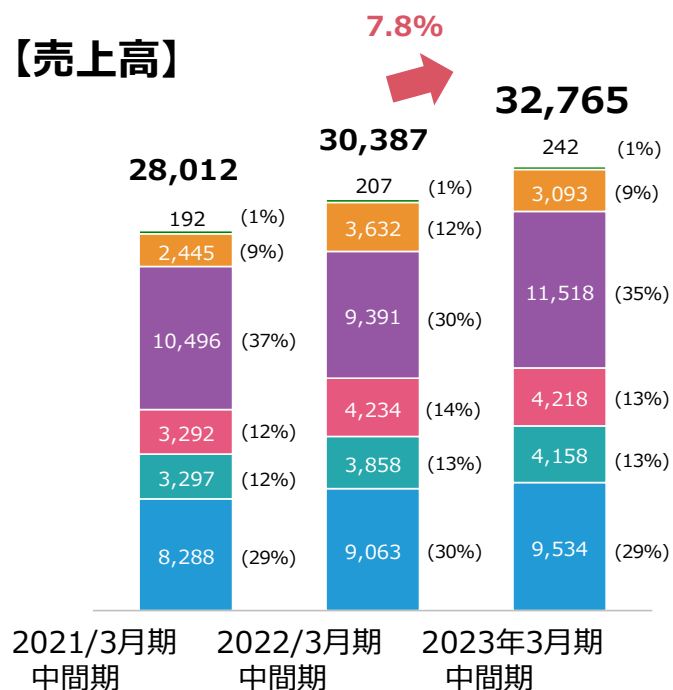
## 4.現状認識と目標達成に向けて

Covid-19 × C.WAR  
≡ CHAOS

# 問題意識



## 増収減益、キャッシュの減少、純損失



■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

## 2025年3月期の目標



→ **霞工場稼働率で計る3つのケース**

**保守的、現実的、積極的**

→ **3つのポイント**

- ① **原料の安定的確保とコスト削減**
- ② **既存事業の販売数量増加と値上げ**
- ③ **ライフサイエンス事業の販売増強**



## ビジョンの基になる指標



$$\text{ROIC} \geq \text{WACC}$$

$$\text{PER} = 15$$

$$\text{PBR} = 1.0$$

## 業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp